

令和5年度 長崎市立日見中学校 学力向上プラン

【校訓】
感動・創造・協調

【教育目標】
自律・創造
～平和で豊かな社会を創る力と志を身につける～

【めざす生徒像】
○自ら学び、正しい判断ができる生徒（知）
○思いやりがあり礼儀正しい生徒（徳）
○健康と安全に心がけ、心身ともにたくましい生徒（体）

「全国・県学力調査における実態と数値目標」
《実態》国語…長崎県平均より－10%、全国平均より－10.8%
数学…長崎県平均より－9%、全国平均より－12%
英語…長崎県平均より－6%、全国平均より－11.6%
※ 情報の読み取り、記述式の問題における正答率が低い
《目標》令和6年度の平均正答率が長崎県平均を上回る



【共通課題】 表現力育成を目指した総合的な学力の向上

身につける力を明確にした指導

- めあてとまとめの工夫
- 振り返りの活用
- 問いや発問の工夫

表現力の育成

- レポート、論文、ポスター、プレゼンの活用
- 言語活動の充実

特別支援教育を基本にした指導法

- ユニバーサルデザイン教育
- 個に応じた指導

学習規律の徹底

- 挨拶、返事、聞く姿勢の徹底
- 聞き方や話し方の約束、徹底
- 発表ができる雰囲気づくり

家庭学習の定着

- 学習部（専門部）との連携
- 家庭学習点検表の活用（定期テスト期間など）
- アウトメディア・ウィークの実施（小中連携）
- 保護者（家庭）との連携

ICT 機器の有効活用

- 視聴覚教材の活用
- Chromebook の積極的利用
- キュビナの活用

教科	共通課題に対する各教科の具体的な取組・活動内容
国語	*学級や学年での交流を通して、他者に考えを伝える場を設ける。意見と根拠を分け、考えを深める活動 *Chromebook の活用（情報収集、作文、共有など）*Google フォームを用いた振り返り *リーディングスキルの実態把握と向上を目指す。（授業やテストでの問いの工夫） 条件作文
社会	*基礎・基本の徹底（重要語句・内容のくり返し学習） *調べ学習の充実 *学び合いや対話を生かした学習活動（ペア活動や班活動） *個⇒集団⇒個の学習形態を通して考えを共有する。他者の意見をもとに多面的にとらえ、表現(文章化)させる。 *問いの工夫（単元を貫く問い、単元毎の問い） *単元毎の振り返り（自己評価や小テスト）
数学	*授業展開の工夫（「めあて」と「まとめ」の関連づけ） *学び合いの工夫（月に2・3回）⇒理解を深め、内容を共有し合える授業環境づくり *単元の導入の工夫（生徒の意欲を引き出す教材開発）
理科	*前時の復習、「言う」「書く」をくり返す、ワークやキュビナでの練習問題 ⇒ 基本的な学習内容の定着 *「めあて」に対する「まとめ」を自分で考える。（結果をもとに考察、まとめに必要なキーワードを意識） *話し合い活動を多く取り入れる。考えを他者に伝え、他者の考えを聞く⇒ 説明する力（表現力）を育てる。
音楽	*鑑賞の活動で、曲の良さや美しさについて、曲想と音楽の構造との関わりなどを根拠として挙げながら、自分の言葉で説明して、班などで意見の共有化をする。
美術	*作品制作の前に発想を広げるため、参考作品を鑑賞する。 *理想とする完成作品に向けて、個々にアイデアや技法を提案する。 *最後まで諦めず制作に取り組むために、全生徒への目配り、声かけ、個々の指導を行う。
保体	*めあて・動き・振り返りの共有 *Chromebook の活用（動画や静止画の撮影を通じた学習目標および成果の可視化、評価の可視化。提示された動きのポイントやつまづきの事例を参考に、中間の課題やできばえを伝え合う。） *練習やゲームで最善を尽くさせ、フェアプレー等の良い取組を見つけ、理由を添えて他者に伝える。
技術	*全員参加の授業実践(Chromebook のジャムボードを活用した意見交換、音読や発表など全員指名制の学習) *動画を活用した授業実践（デジタル教科書の積極的な活用、1問1答の復習動画の活用）
家庭	*毎時間の授業内容をクラスルームに表示し、流れ通りに授業を進める。（教科書・ワークのページも確認） *記入したワークは、毎時間撮影し、写真で提出（採点・コメント記入の後に返却） *動画を用いた解説 *実物を手に取り、さらに理解を深める。
英語	*基本本文の定着を基にしたプロジェクト学習を仕組み、生徒の表現力を向上させる。 *音読指導により、自然な英語を聞き取る力や速読の能力向上につなげる。 *Chromebook の活用 *既習事項や例文を参考に、正しい英語で自己表現する活動を盛り込み、書く力と発話の力を向上させる。